

那珂川市図書館

オススメの1冊

『絵のない絵本』 アンデルセン／著 山野辺五十鈴／訳 集英社

一般書【949.77】

『人魚姫』や『裸の王様』のお話で有名なアンデルセン。アンデルセンが旅行中に体験した出来事や、知人から聞いた実体験を基にした連作短編集があるのをご存知ですか？

この『絵のない絵本』は、“月”が貧しい絵描きに「絵にしてごらん、話してあげたことを・・・」と語りかけ、できたものです。

“月”は今まで見てきた話を語ります。

ドイツの芝居小屋の様子やパリのルーヴル美術館をのぞいた時の出来事、泣いている小さな女の子の話や、その日見たローマの様子など、三十三夜様々なお話を語ってくれます。

“月”は“雲”に隠されて2週間あまり出てこない時があれば、話の途中で“雲”に隠れて話が終わってしまうこともあります。それでも絵描きは聞いたところまで話を書き留めます。

それぞれのお話は文庫本の2~4ページで終わってしまう、とっても短いお話です。

旅好きだったアンデルセンを知ることが出来る1冊、“月”がどんな景色を見てきたのか。絵描きと一緒に色々な世界をのぞいてみませんか？

那珂川市図書館司書（おさるさん）